

第3学年 国語科学習指導案

日時： 令和5年 7月13日(木)

学年： 3年2組 児童26名

授業者： 尾久第六小学校 3年担任

自分の考えをもち、主体的・対話的に学びを深める児童の育成
～国語科「読むこと」を通して～

1. 単元名 登場人物のへんかに気をつけて読み、感想を書こう

教材名 「まいごのかぎ」 齊藤倫 作 (光村図書 国語 三上 わかば)

2. 単元の目標

知識及び技能	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。((1)オ)
思考力・判断力・表現力等	・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。(C(1)イ) ・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付け具体的に想像することができる。(C(1)エ) ・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。(C(1)カ)
学びに向かう力・人間性等	・物語を読み、感想を書き、友達と交流するよさを感じるとともに、それによって感じ方が変わったり新しく発見したりした事に価値を見出す態度を養う。

3. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。((1)オ)	① 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(C(1)イ) ② 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ③ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。(C(1)カ)	① 登場人物の気持ちの変化を想像し、学習課題に沿って、物語の感想を書こうとしている。

4. 児童の実態

本学級の児童は、友達と会話をするのは好むが、読書については積極的に行わない児童が多い。1学期に読んでいる本は、低学年の時とあまり変わっていなかったり、絵本が多かったりする。また、動物や植物の本や、好きなスポーツについての本を読む児童も多い。「トレジャー本」を借りる児童も少なく、1学期に15冊分の感想を述べる「読書賞」の達成状況は6月中旬で1名のみに残っている。

物語を読むときは、何があったか、という物語の展開のみに関心をもつ児童が多い。「きつっきの商売」では、登場人物の行動はほとんどの児童が読み取ることができたが、初読で本文の叙述をもとに場面の様子を捉えたり登場人物の気持ちを想像したりすることができた児童は半数程度だった。続きの場面を考える活動では、教科書の例を一部変えただけに留まる児童もいた。

これまでの学習をふまえ、本単元では、何があったかは教材文の面白さによって読めばわかるので、登場人物の気持ちとその変化に注目させていきたい。

5. 教材について

本教材の登場人物は小学生であり、児童にとっては感情を想像しやすい。周りの友達の反応により思った通りに行動できないこともよくあることであり、親近感を持って考えることができる。一方で、物語で設定されている地域は、児童の日常とは大きく異なる。海に近い自然豊かな地域で魚の開きを干物に加工する光景などは想像しにくいように思われる。

しかし、主人公の行動や不思議な出来事は、児童にとってもやってみみたい遭遇してみたいことの連続であり、一度は怖く思うものの、出来事の見方を変えることによって気持ちが変化する場面では共感的に読むことができるのではないかと考えられる。これにより、主人公の気持ちの変化を捉え、疑問に対する考えをもつことがしやすいと考えられる。

6. 研究主題に迫るための手立て

(1) 単元構成の工夫

教材文は文中の表現が分かりやすく繰り返しが多いことから、面白さを感じやすく、内容を詳しく読み解く活動を行わなくても、場面の様子や内容を捉えることはできると考え、設定した学習課題に対する自分なりの考えをもったり、それをもとに感想を書いたりすることを学習活動とした。

教科書では登場人物の気持ちの変化に着目して読みを深めるとしているが、本単元では学習課題を個々に設定することにした。それぞれの読みが深まらない可能性もあるが、自分で設定した課題に取り組むことで、児童は他人の意見に頼らずに自分の考えをもつ必然性が生まれることとなる。また、学習意欲の高まりが期待でき、主体的な学びにつながると考えた

(2) 学習過程の工夫

児童は、教材文の内容を捉え、面白く感じると思われる。不思議な出来事やそれが繰り返されることに面白味を感じるが、なぜ主人公の気持ちの変化がおきたかまでは深く考えないと想定されるので、それを学習課題とするべく、初発の感想から疑問点を抜き出して提示し、その中からそれぞれの学びたいことを設定させることとした。

しかし、それだけでは読みが深まらないので、それぞれの考えを交流する時間を取ることにした。自分の考えを書き、その根拠となる叙述を述べ合うことで、それぞれの注目した箇所とその読み取りを補い合う対話的な学びにつながると考えた。

(3) 文章表現や描写に着目できるようにするための工夫

本単元で使用する「まいごのかぎ」は教科書のための書き下ろしであり、児童の発達段階に応じた文章表現となっている。そのため、叙述に注目せずに読んでしまう可能性がある。「○○のような」「○○みたいな」という比喩が多く使われていたり、色の表現が豊かだったりするので、児童にはその点に着

目させ、想像をふくらませるよう促したい。

また、各場面に鍵を差し込む様子と、不思議なことが起こっている様子の挿絵があり、登場人物の表情も豊かに描かれている。それを見ながら読むことでより楽しく想像ができると思われる。範読では文を追うだけではなくて挿絵に注目させるとともに、音読に慣れてきたら挿絵を楽しみながら読むように促したい。さらに、教材文冒頭ではうつむいている登場人物の表情が挿絵から分かるが、最後は背を向けていて挿絵から表情は分からない。本文の叙述をもとに登場人物の表情を想像させて読みを深められるようにしたい。

7. 単元の指導と評価の計画

時	◆目標 ○学習内容	評価			
		知 技	思 判 表	態 度	◎評価規準 <評価方法>
1	◆「まいごのかぎ」を読み、感想を書く。				
	○扉のリード文や絵を見て、「りいこ」が何を見つけ、その後何が起るのかなど物語の内容を想像する。 ○様子を表す言葉に着目して、不思議な出来事を想像しながら読む。 ○物語を読んで思ったこと、不思議に思ったこと、もっと知りたいことなどを書く。(ワークシート①)			①	◎登場人物の気持ちの変化を想像し、学習課題に沿って、物語の感想を書こうとしている。<記述>
2	◆学習の見通しをもつ。				
	○通読して「登場人物のへんかに気をつけて読み、感想を書こう」から、感想で自分の知りたいことについて考えるという学習課題を設定し、学習計画を立てる。 →P4「三年生の国語の学びを見わたそう」 ○初発の感想から抜き出した、友達の「ぎもんに思ったこと」ももっと知りたいことを読み、もっと学びたいことを決める。(ワークシート②)	①			◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。<記述>
3	◆場所と出来事に気をつけて、場面に分ける。				
	○各場面で起こったこととそのときの「りいこ」の様子や気持ちを整理する。			①	◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。<発言等>
4	◆主人公の変化を考えながら、自分の学びたいことについての考えを書く。				
	○物語の最初の「りいこ」と最後の「りいこ」はどんな様子だったかを確認、本文の叙述をもとに自分の学びたいことについて考えたことを書く。(ワークシート③)			②	◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。<記述>

5 本 時	◆自分の学びたいことについて、考えたことの理由を話す。			
	○学習課題に対する自分の考えの根拠を、伝え合う。理由が言えたら、ワークシートに印を書いてもらう。(ワークシート④)		③	◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。<発言等>
6	◆感想を書く。			
	○前時に友達から聞いた知りたいことと考えを思い出し、それを元に物語全体の理解を深める。 ○「りいこ」の心の変化はどうなっていたのか、どこでその変化が起きたのかを確認する。 ○初出の感想を読み、今考えている感想との違いを考える。 ○出来事や「りいこ」についておもしろかったところや好きなどを選び、そう思った理由や考えたことなどをまとめる。 ○書き出しと結びを工夫して、感想を書く。(ワークシート⑤)		①	◎登場人物の気持ちの変化を想像し、学習課題に沿って、物語の感想を書こうとしている。<記述>
7	◆書いた感想を友達と読み合い、自分の考えとの相違点を伝え合う。学習を振り返る。			
	○友達と感想を読みあい、自分の感想と比べて、よかったところを伝え合う。 ○「ふりかえろう」でどのように登場人物の変化を捉えたかについて振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ○「この本、読もう」で他の本へ読み広げる意欲をもつ。		①	◎登場人物の気持ちの変化を想像し、学習課題に沿って、物語の感想を書こうとしている。<行動観察>

8. 本時の学習 (第5時目/全7時間)

(1) ねらい 自分の学びたいことについて、考えたことの理由を話す。

(2) 展開

時間	○主な学習活動	※指導上の留意点 ◎評価規準 <評価方法>
3	○今日の課題をつかむ。 ・設定した学習課題に対する自分の考えについて、どうしてそう考えたか友達と伝え合い、交流すること。	※自分の考えの根拠は本文の叙述や挿絵にあるので、それを伝え合うことを指導する。 ※本文の叙述を指し示すなどでもよいが、1カ所ではなく、複数箇所の場面の様子や登場人物の気持ちを、本文から読み取り、とらえる方がよいことを指導する。
15	○場面の様子や登場人物の気持ちを考えながら音読する。	※登場人物の言葉や不思議な出来事の様子など、想像をもとに読み方を工夫するよう促す。

15	<p>○自分の学習課題に対する考えを読み、その理由を友達に伝える。理由が言えたら、ワークシートにサインを書いてもらう。</p> <p>・理由として、考えのもとになった本文を指し示すか、本文の2つ以上の場所を組み合わせで考えたことのいずれかを言う。</p>	<p>※本文の箇所を指し示した場合と、複数の箇所を組み合わせで考えたことを言えた場合の枠を別に用意する。前者は「ここにこう書いてあるから。」という言い方で、後者は「ここに書いてあることと、ここに書いてあることをあわせると、こうなると考えたから。」というような言い方ができればよいとする。</p> <p>◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。<発言等></p>
5	<p>○自分の学習課題に対する考えとその理由を発表する。</p>	
7	<p>○「りいこ」の変化について、友達の考えを聞き、自分とは異なることや、面白いと思ったことをメモするなどしておく。</p> <p>○次時では、本時の内容を生かして感想を書くことを知る。</p>	